

提案件名 新入職員による業務内容報告会

提案者 個人 区分 アイデア

現状及び問題点

入庁後3か月が経過するが、日々の業務に追われ他の部署が何をしているのか理解する機会がない。電話対応や廊下で市民の方へ質問された時に説明責任が果たせない場合がある。業務に関しても、部署同士の連携は必要不可欠であるにも関わらず、相手の職務内容や考え方による立場が理解できていないので意思疎通が十分できず、必要以上の労務や連携ミスが生じる事が考えられる。更に、自分が行う業務が市役所全体の流れに対しどのような影響があるのか理解できていないままになってしまっている。又、新入職員もいずれ市民の前に立ち発表や挨拶のスピーチをする機会も必要となる事が考えられる為、その練習も必要だと考える。

提案の内容

例として入庁後半年・1年を境に新入職員同士で現在受け持つ職務がどのようなものか発表会（プレゼン）を行う。その際、部署連携において実際に困ったこと・困っている事・よくあるミス・お願いごと等、忌憚のない意見や実務内容を報告しあえると尚良いと考えられる。

期待される効果

他の部署がどのような業務を担当しているか知り、理解できる事で、部署間による円滑な連携を狙えるだけでなく、今現在の担当部署として働く感覚ではなく、視野を広く持ち市役所の職員として働く事への責任感向上を狙える。又、自分の業務を発表するうえでの復習や、まとめる思考により各自が更に自担当部署に対しての理解を深められる事が期待でき、新入職員のプレゼン能力向上も狙える。定例的では無いので、日々の業務に対する負担も少ない。新入職員同士なので、忌憚のない発表会が期待できる。

関係課意見

【総務課】

視野を広く持ち他部署の業務内容を把握することについては、日々の業務やOJT、同期や諸先輩方との交流の中で取り組まれていると認識している。他業務を理解することは素晴らしいことだが、そのために報告会を開催し理解を求めことや、カテゴリーが大きく異なる業務に至っては報告や参加も、一過性であり自発的なものにならず、やらされ感のデメリットのほうが大きいと思慮します。

また、電話や廊下での市民の方に対する回答については、拙速に浅はかな知識で回答をすることはかえって市民の誤解や混乱を招く原因ともなりかねないことから、丁寧な担当部署への取り次ぎやご案内が望ましい。

なお、若手職員のプレゼン能力の向上については、引き続き、積極的に研修へ参加を促すとともに自前講師の養成に努めていきたいと考えます。

様式第7号(第9条関係)

提案事項審査報告書
(アイデア提案用)

提案番号 No.16-06	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 新入職員による業務内容報告会

審査項目	審査基準					委員会委員 の平均点
	5点	4点	3点	2点	1点	
問題意識	非常によく認識している	よく認識している	認識している	多少認識している	あまり認識していない	3.3点
創造性	着想が非常に独創的である	着想が独創的である	創意工夫している	改善工夫の意識がある	既成のものと変わりがない	2.9点
有効性	非常に効果がある	かなり効果がある	効果がある	多少効果がある	あまり効果がない	2.4点
効率性	非常に効果がある	かなり効果がある	効果がある	多少効果がある	あまり効果がない	2.3点
費用対効果	非常に経済的である	かなり経済的である	経済的である	多少経済的である	あまり経済的でない	3.1点
具体性	非常に具体的である	かなり具体的である	具体的である	多少具体的である	あまり具体的でない	2.6点
実現性	直ちに実現できる	多少の準備が必要である	相当の準備が必要である	内容の検討が必要である	実現は困難である	3.1点
【意見】 採用 3名 否採用 7名 どちらでもない 4名					合計 (総合評定)	20点
					判定	採用 不採用 保留
					表彰	市長賞 優秀賞 参加賞
					ほう賞金	3万円 5千円 500円

審査委員意見

【採用】

- ・このような会は、自分たちが自主的にするのが一番であるが、発起人となる人がいないのが現状だと思われます。このような意見は毎年見受けられることから、総務やメンターがある程度お膳立てをしてあげるといいかもしれません。
- ・自分の仕事だけでなく、他の課がどのような事務をしているか知ることは、自分の勉強にもなりよいことだと思います。プレゼンを行うことにより、市民の方への説明の仕方にも工夫ができ、スキルアップにつながる事が予想されます。取次ぎするにも、どこがどんな業務をしていることさえ理解できていない場合も考えられるので、やってみたらよいのではないかと。
- ・他部署の仕事内容について勉強することは必要だと思います。自主運営により、ぜひ実施して欲しいと思います。

【否採用】

- ・新人職員でなくても配属されたことがない職員でも他部署のことは把握していない点がある。業務報告会といった取り組みより、税や福祉などを簡単に分かる職員マニュアルを構築し、個人で勉強できる方法を探ってはいかがでしょうか。
- ・概要は新人研修や資料などで学習し、担当部署へスムーズに引継する方が効率的。新人同士の交流会は別の機会です。
- ・若手職員でも業務をたくさん抱えている現状でさらなる負荷になることが危惧される。
- ・市役所の仕事は多岐にわたっており、全庁の業務内容を把握するには「自身の相当の経験」が必要です。他所属業務であっても常に納得して仕事をすすめることを心掛けたり、業務内外問わず職員同士での情報交換など自己研鑽に努めることが適当ではないかと考えます。

【どちらでもない】

- ・仕事をする上で情報交換は必要だと思いますが「報告会」とまでしなくてもいいように思います。また、新人同士だけでなく、様々な世代からの情報をしっかり集めてほしいと思います。
- ・新入職員で会合し、話し合いをすることは引き続き続けていただきたい。